

「2024年中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学工学部3年 Kaimuk Lhuengwongpaisarn

浙江大学スプリングプログラムは、京都大学の学生が中国の杭州にある浙江大学に留学し、2週間中国の文化や社会に浸るユニークな機会を提供するものです。中国をより深く理解し、中国での教育やキャリアの機会を探りたいという動機から、私はこのプログラムに参加することにしました。しかし、このプログラムから得たものは、私の期待をはるかに上回るものだった。

中国の世界的影響力と私の学術的好奇心

経済、テクノロジー、地政学における世界的な大国としての中国の急成長が、私の好奇心に火をつけた。人工知能、インフラストラクチャー、グリーンエネルギーにおける進歩に加え、国際貿易における影響力の増大により、中国は世界の景観を再構築しつつある。私は、このイノベーション主導国の中心に位置する浙江大学に特に惹かれ、その学術的環境と成功の背景にある理由に興味を持った。

到着した当初は、ある文化の違いに驚きましたが、時間が経つにつれて、これらの違いをより深く理解するようになりました。中国語を勉強している多くの留学生に出会い、彼らの考え方を聞くことで、中国が海外でどのように受け止められているのか理解が広がった。また、中国のテクノロジー事情、特にアリペイやウィーチャットペイといったオンライン決済システムの普及についても、より強く意識するようになった。一般的に新しいテクノロジーへの適応が遅い高齢者でさえ、日常生活でこれらのアプリを快適に使っていることに驚かされた。

プログラムが進むにつれて、中国で勉強したいという意欲が強くなっていった。中国の大学について調べ始め、浙江大学の学生から貴重なアドバイスをもらい、中国、特に浙江大学で教育を受けたいという気持ちがさらに高まりました。

中国を体験する 文化、歴史、革新

アカデミックな体験だけでなく、このプログラムでは中国の豊かな文化的・歴史的遺産を探索する機会も数多く提供された。技術革新で知られる杭州は、印象的な史跡のコレクションも提供しています。ユネスコの世界遺産に登録されている西湖は、寺院や仏塔、美しい庭園に囲まれている。この地域の文化的意義は、東アジア全域の詩歌や庭園デザインに影響を与えたことに反映されている。私はまた、杭州の宗教的、歴史的進化への洞察を提供する雷峰塔や臨沂寺のようなランドマークを訪問した。

私はまた、河坊街、宋の時代の建築と料理を紹介する文化の中心地を探索する機会があった。中国茶博物館や包丁・ハサミ・刀剣博物館などの博物館では、中国の歴史や職人技をより深く理解することができた。

文化的な探求に加え、このプログラムでは最先端のイノベーションも学ぶことができた。杭州のシリコンバレーに相当するフューチャー・サイテック・ゾーンを訪れ、人工知能やロボット工学、その他の新興技術の進歩を目の当たりにしました。これらの技術が中国の都市開発やインフラプロジェクトにどのような影響を及ぼしているのかを直接見ることで、この訪問は私の土木工学の研究に特に大きな影響を与えた。もうひとつのハイライトは上海タワーを訪れたことで、世界で3番目に高いこのビルの建設技術について学ぶことができた。

プログラムの構成と見識

プログラムでは午前中に中国語の授業があり、世界各国からの留学生と出会いながら中国語の基礎を学ぶことができた。午後は、中国文化に浸るためのさまざまなアクティビティに参加した。キャンパスツアー、南宋皇朝街などの文化スポット訪問、浙江大学公共問題学院との交流などです。

このプログラムで最も洞察に満ちた部分のひとつは、中国の学生とのプレゼンテーション交流だった。私たちは日本のさまざまな側面を紹介し、同じテーマについて彼らの見解を聞きました。この異文化交流は、特に教育や就職活動に関する中国の社会的価値観について理解を深めるのに役立った。特に、中国の学生が博士号を取得することの重要性をどのように考えているのか、また、社会人になるためのアプローチは、会社への忠誠心を重視

する日本とは大きく異なっていることに魅了されました。

個人的・学問的成長への影響

この交換プログラムは、私の学問的成長と個人的成長の両方に大きな影響を与えた。中国の先進的な建設技術を目の当たりにしたことで、世界のエンジニアリングにおける中国の役割に対する理解が深まり、さらに教育を受けたり、国際的なプロジェクトに参加したりして、同じような技術を探求したいという意欲が湧いてきました。個人的なレベルでは、この経験は私の異文化コミュニケーション能力を大きく向上させた。私は中国語があまり話せなかったにもかかわらず、多様な背景を持つ人々と何とか打ち解け、不慣れな環境でも自信を持って行動できるようになった。中国の歴史、社会的価値観、急速な技術発展について学ぶことは、私の視野を広げ、この国の発展についてより深い理解を与えてくれた。

しかし、この経験で最も印象に残っているのは、友情を築けたことだ。浙江大学のボランティアから中国語コースのクラスメート、そしてプログラムを通じて知り合った学生たちまで、これらの関係はかけがえのないものでした。彼らのサポートと洞察力は、私がこのプログラムを乗り切る助けとなり、今後何年も大切にしていこう。

結論

中国での2週間の交換留学は、私の学業と個人的な願望を形づくる、忘れられない経験となった。中国に留学したいという気持ちが固まっただけでなく、国際的なコラボレーションに参加したいという情熱にも火がついた。学業とキャリアの機会を模索し続ける中で、私はさらなる中国留学と、文化とイノベーションの架け橋となるグローバル・プロジェクトへの参加の可能性に胸を躍らせている。